

■ 編集方針

当社は平成16年より環境報告書を発行してきましたが、企業の社会的責任への関心の高まりを踏まえ、平成19年よりCSR報告書として発行しました。今年で4回目となる報告書は、昨年同様、ステークホルダー別に情報を開示、また、ステークホルダーダイアログを開催し、外部からの客観的な意見を取り入れることでより精査、改良し、新しい情報を優先的に掲載しました。

さらに平成22年は京阪電気鉄道開業100年の節目の年でもあり、これまでの100年に築いた歴史を振り返り、培った信頼をもとに次の100年へと歩めるよう、開業100周年を特集テーマとしました。

なお、本報告書は鉄道事業法により公表を義務づけられている「安全報告書」も兼ねており、安全に関する情報も充実させました。

■ 報告対象範囲

京阪電気鉄道株式会社の事業活動を報告対象としています。

※環境負荷データ、環境会計データは当社および株式会社京阪ビジネスマネジメント、株式会社京阪ステーションマネジメントを対象としています。
※一部のグループ会社のCSR活動も紹介しています。

■ 報告対象期間

平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

※一部に平成21年度以前、21年度以降の取り組みを含んでいます。

■ 参考にしたガイドライン

- 環境報告ガイドライン(2007年度版)
- 環境会計ガイドライン(2005年度版)
- 民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年度版)

■ 発行日

平成22年8月

■ 次回発行予定

平成23年8月

■ お問い合わせ先

京阪電気鉄道株式会社
経営統括室 経営政策担当 CSR報告書作成事務局
TEL:06-6944-2529 FAX:06-6944-2584

CSRとは >>>

「Corporate Social Responsibility」の略で、

「企業の社会的責任」という意味です。

企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境など、周囲をとりまく利害関係者(ステークホルダー)とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

CSR報告書は、企業のステークホルダーとのかかわりを開示することで、取り組みをご理解いただくとともに、自社の活動を検証するためのものです。

CONTENTS

編集方針/CONTENTS	3
京阪電気鉄道(株)会社概要/京阪電車沿線案内図	4
京阪グループの概要/京阪グループネットワーク	5
■ トップコミットメント	6
■ 特集	8
京阪グループのCSR	
京阪グループのCSRへの考え方/経営理念/経営姿勢	11
経営ビジョン/行動憲章	12
経営理念の浸透/京阪電鉄とステークホルダー	13
コーポレートガバナンス	14
CSR推進体制	15
安全への取り組み [安全報告書]	
基本方針/安全管理体制	17
安全重点施策/安全投資	18
安全管理方法	20
事故等の発生状況	21
社員教育・人材育成	22
技術の継承	24
安全対策:運行管理	25
安全対策:車両	26
安全対策:駅/安全対策:併用軌道	27
安全対策:踏切	28
安全対策:その他/自然災害対策	29
訓練	30
京阪電鉄からのお願い/ 安全への取り組み [安全報告書] へのご意見など	31
社会への取り組み	
■ お客さま満足のために	
お客さまの声にこたえて	33
よりよい鉄道を目指して	34
バリアフリー化の取り組み	35
快適・安心を目指して/お客さまとのコミュニケーション	36
■ 株主・投資家のために	
情報開示・コミュニケーション/株主優待制度/ 株主総会/インサイダー取引の防止	37
■ 地域社会のために	
明日を担う世代のために	38
地域社会とのコミュニケーション	39
■ 従業員のために	
働きやすい職場づくり	40
安全衛生に関する取り組み	41
環境への取り組み	
環境理念/環境方針/環境理念・環境方針の浸透	43
環境マネジメント/京阪グループの環境マネジメント	44
環境負荷削減の目標と実績	45
事業活動に伴う環境負荷(マテリアルバランス)	46
環境会計	47
地球温暖化防止の取り組み(鉄道電力の削減)	48
地球温暖化防止の取り組み(公共交通利用促進)	49
騒音振動低減への取り組み	50
その他の取り組み	51
ひらかたパークでの取り組み	52
■ グループ会社における取り組み	53
■ 第三者意見	54